

### 地形・地質

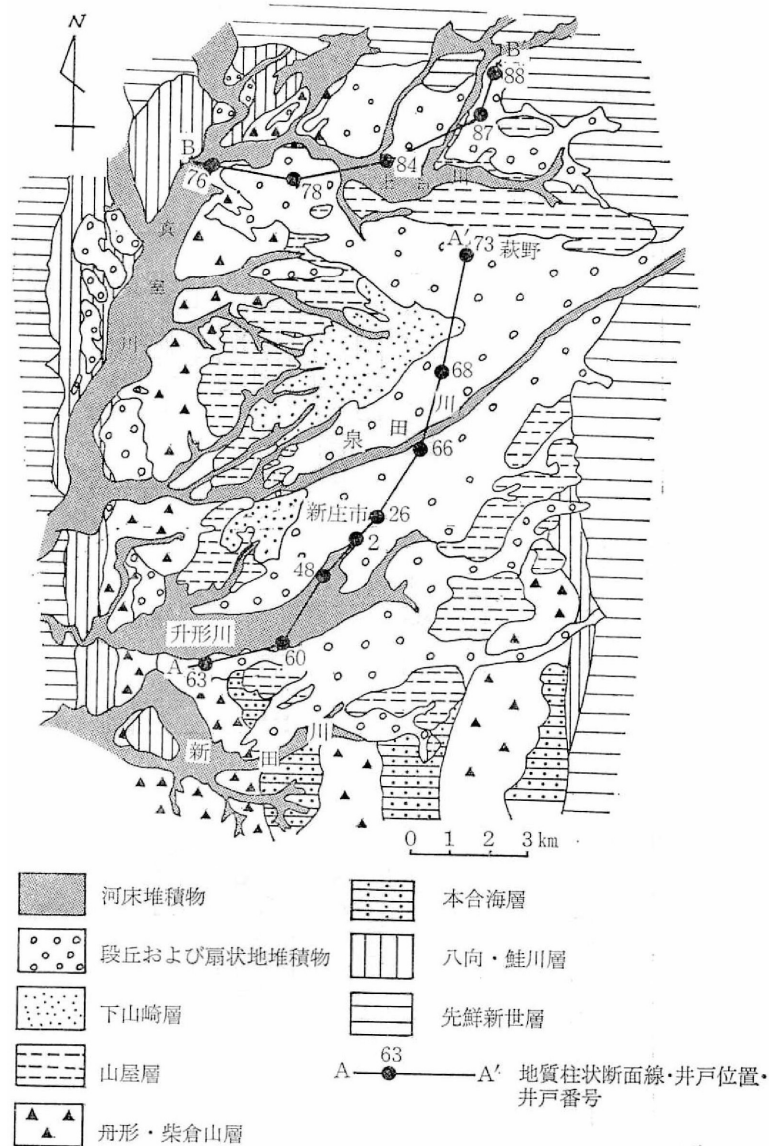
新庄盆地は山形県の北部に位置する内陸盆地の1つで、奥羽山脈と出羽丘陵の間に位置します。盆地は、鮮新世の地層からなるなだらかな丘陵地と、河岸段丘を主体としています。

新庄盆地の地層層序表

時代	地層名	層相	層厚 (m)	
第四紀	完新世	沖積層	氾濫原堆積物 扇状地堆積物	
	更新世	段丘堆積層	砂礫層	
		下山崎層	上部: 凝灰質砂, 粘土 下部: 礫	10
		山屋層	砂礫 (凝灰岩, 粘土を含む) 最上部: 礫	100
新第三紀	鮮新世	舟形層	上部: 浮石凝灰角礫岩 下部: 砂礫	100
		柴倉山層	凝灰質砂泥岩互層 基底: 凝灰岩, 凝灰質砂岩	120
	更新世	本合海層	中粒砂岩 夾炭砂質泥岩, 砂岩互層	200
		八向層	中粒～粗粒砂岩 下部: 泥質岩	250
		鮭川層	細粒～中粒砂岩 基底: シルト質岩	230
	先鮮新統			

## 地下水

礫、砂からなる扇状地性堆積物である沖、洪積層は、新庄盆地における最も主要な帯水層で、現在揚水されている地下水の大部分はこの帯水層からです。深井戸は、第三紀鮮新世の地層（舟形層・柴倉山層・本合海層・八向層・鮭川層）からも揚水しています。



新庄盆地の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）